

地域の わ 通信

Kanagawa-ku
Chiiki ryoku

神奈川県内の庁舎内向けに、区内の地域情報や地域支援に関わる業務などを紹介します。

区政推進課 地域力推進担当 411-7026

Case 8

片倉地区社会福祉協議会

「かたくらんど」
放課後の子どもがホッとできる地域の居場所



■片倉地区では、放課後の子どもの居場所「かたくらんど」を、毎月第1金曜日にオープンしている。開催日の15時になると、会場となる片倉台団地の集会所の入り口に、子育て支援ボランティア（すくすくかめっこ）に参加しているお母さんが描いた、イラスト入りののぼりが、子どもたちを温かく迎えてくれる。

■「かたくらんど」を開催するきっかけは、子どもが地域の大人と関わる機会が減ってきていることに加え、共稼ぎの親が増える中、放課後の子どもの安全な居場所が地域にあればという思いからだった。

■20名ほどのスタッフは、地域の行事などに協力する「ふれあい員」が主なメンバーで、中には昨年実施した地域人材マッチング事業（*注）から手を挙げてくれた方もいる。「期待以上のスタッフが協力してくれたのは、子どもを地域で大事に育てていきたいという思いと、この

場の必要性を多くの方が感じているから。」と運営する片倉地区社会福祉協議会の下地会長は話す。

■毎回十数名ほどの子どもが遊びに来て、スタッフと一緒にオセロや人生ゲーム、昔遊びなどを楽しんだり、おやつを食べたり、宿題をしたり、人との触れ合いを重視した時間を過ごしている。「子どもが何度もゲームをせがむ姿は、まるで本当の祖父母と孫が遊んでいるみたい。」とスタッフの一人は微笑む。

■子どもが大好きなおやつは、スタッフの手作り。9月のおやつは、米粉とチーズを使った焼き菓子とオレンジゼリー。おやつを食べた子どもは「おいし〜！」と、おかわりが続く。手作りのおやつが、この場をさらに家庭的な雰囲気になっているようだ。

■「かたくらんど」は今年の6月にスタートしたばかりで、始めてみてよかったこともある。現在、開催している金曜



【かたくらんど】

開催日：第1金曜日 午後3時30分～5時

おやつ：100円

（*注）地域人材の裾野を広げるために住民アンケートを実施し、地域活動に関心を示した人材と自治会町内会等の活動団体をつなげる事業。区が補助金交付やアドバイザー派遣などの支援をしている。

日は、習い事や塾の日と重なる子どもが多く、来る子どもが固定されることだ。

「子どもが安心して過ごせる地域の居場所として、開催日のことを含めて、これから少しずつ改善しながら進化させたい。」と下地会長は意気込む。

■一方、良かったことは、放課後の子どもの居場所として開催しているこの場が、スタッフ同士の交流や情報交換の場になってきたことだ。近所でも会う機会が減る中、「かたくらんど」に行けば、誰かに会える嬉しさがある。地域住民のつながりの場としても広がっていきそうだ。

■親でも学校の先生でもない地域の大人が、子どもと出会い、触れ合い、思い出を作ることは、子どもの成長期には欠かせないこと。それが地域愛につながり、故郷となる。

身近な地域のつながりを作り、放課後の子どもの居場所として、そして大人の交流の場として、これからの「かたくらんど」が楽しみだ。